

関係機関の長 殿

福島工業高等専門学校長
奈良 宏 一（公印省略）

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび、本校では下記公募要項により教員を公募することとなりましたので、貴職関係者にご周知
くださいますとともに、適任者の推薦についてよろしくお願い申し上げます。

記

1. 概要 募集人員：准教授 1名
所属学科：コミュニケーション情報学科
専門分野：経営学、または、その関連分野
担当科目：経営学、企業論、市場戦略論等
2. 応募資格 (1)博士の学位を有する方または平成20年3月までに取得予定の方
(2)高専における教育、学術研究および学生指導（生活指導、寮生指導、課外活動等）
に熱意があり、本校の運営等に積極的かつ協動的に参画できる方
(3)校務に支障がない程度の日本語能力を有する方
3. 着任時期 2008年 4月1日
4. 応募書類 (1)履歴書（市販用紙、写真貼付）
(2)研究業績一覧（論文、著書、特許、口頭発表等、様式自由）
(3)主要論文・著書別刷り（コピー可、5編以内）
(4)高専における教育・研究および学生指導に対する抱負（1,000字程度、様式自由）
(5)推薦書1通
応募締切 2008年 2月22日（金）必着
書類提出先 〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30
福島工業高等専門学校総務課人事係
TEL : 0246-46-0707
FAX : 0246-46-0729
封筒に「コミュニケーション情報学科教員応募書類」と朱書し、簡易書留にて郵
送願います。応募書類は返却いたしません。
5. 選考方法 第一次選考 書類選考
第二次選考 学生の前で模擬授業（15分～20分）および面接
（第一次選考合格者を対象として行います。）
6. 採否の決定 個別に連絡
7. 連絡先 本校には、教員選考規則がありますので、応募の際には下記人事係宛に必ずご連絡
ください。
総務課人事係 TEL : 0246-46-0707 FAX : 0246-46-0729
E-mail : jinji@fukushima-nct.ac.jp
学科・専門分野・担当科目に関する問い合わせ
コミュニケーション情報学科長 森川 治
〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30
E-mail : morikawa@fukushima-nct.ac.jp
Tel : 0246-46-0853 Fax : 0246-46-0859
8. U R L <http://www.fukushima-nct.ac.jp/>

(参考) 福島高専の教員が携わる校務内容の概略

平成16年4月より、全国55の国立高等専門学校は、国の機関から、独立行政法人国立高等専門学校機構が設置する高等専門学校になりました。同時に本校では、本科(5年)に加えて専攻科(2年)が設置されました。このように、現在、わが国の高等教育機関においては大きな変革の波が押し寄せており、本校も今その只中にいて、新たな生まれ変わりを果たすべく全校あげて取り組んでいます。また、高専はその教育目標や学生の年齢層(本科:16~20歳、専攻科:21~22歳)の幅広さなどから、大学や高等学校とは本質的に異なる点があります。これらのことから、高専の教員は、教育、研究、学生の生活指導などすべてに対して、情熱を持って積極的に努力する姿勢が求められます。ここでは、福島高専の教員の校務について、認識をさらに深めていただくために、その主なものを記します。

(1) 学級担任

学級担任は、一学級40人程度の学生への勉学や生活指導など、学生生活全般にわたるきめ細かな指導が強く求められます。例えば、高等学校と同様に、毎日、朝のショートホームルームや教室清掃の指導がありますし、体育大会や高専祭、校外合宿など各種行事での指導、学生への個人面接や保護者との懇談なども重要な職務となっています。

(2) 各種委員会

教務委員会、学生委員会、寮務委員会をはじめ、各種の委員会があります。学級担任との兼務あるいは複数の委員会に所属することもあります。委員会に所属した場合には、多岐にわたる仕事をこなすことが求められます。例えば、寮務委員は寮内の巡回、寮生の日常生活の指導、寮での各種行事・寮生会所属の各委員会活動の指導など、多数の仕事があります。

(3) 研究

高専の教員は、教育面や学校運営への参画のみならず、研究面での業績も求められます。研究に対する意欲的な姿勢と成果が学校全体の教育研究面の活性化を促し、さらには地域社会への貢献につながることを期待されています。

(4) クラブ顧問

クラブ顧問として日常的な指導をはじめ、運動系の場合には、高専体育大会(地区大会・全国大会)の運営や高体連などの各種大会および練習試合の引率、合宿時の指導などがあります。また、文化系でもロボットコンテストでは、夜間残留時の監督など特別の体制が組まれることがあります。

(5) 学寮の宿日直

本校では、原則として全教員に学寮の宿直と日直(日直は土・日・祝日のみ)が割り当てられます。200名近い男女寮生を指導するこの職務は、本校教員の重要な教育業務の一つとされており、